

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和6年1月19日

協議会名:北近畿タンゴ鉄道生活交通改善事業計画に関する協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
<p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定に向けた現況調査・課題整理</li> <li>・調査結果分析、検討</li> <li>・協議会の開催</li> </ul> <p><b>【結果概要】</b></p> <p>○協議会開催経過</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①令和5年4月11日(書面協議)</li> <li>②令和5年6月9日(現地開催)</li> <li>③令和5年7月28日(現地開催)</li> <li>④令和5年8月23日(現地開催)</li> <li>⑤令和5年11月1日(現地開催)</li> </ol> <p>○検討会開催経過</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①令和5年7月10日(現地開催)</li> <li>②令和5年10月2日(現地開催)</li> </ol> <p>○パブリックコメントの実施結果</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①募集期間:令和5年9月29日～令和5年10月19日</li> <li>②提出件数:9名55件</li> <li>③主な意見の反映 意見を参考として各施策の具体的な取組内容を計画に記載 ・パーク&amp;ライドの推奨 等 ・駅のバリアフリー化 等</li> </ol> <p>○アンケート調査等実施状況</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①鉄道利用者対象アンケート:令和5年10月22日・10月24日 配布・回収状況:2,998件配布、704件回収(回収率23.5%)</li> <li>②高校生対象アンケート:令和5年11月27日～12月22日 配布・回収状況:集計中</li> <li>③企業従業員対象アンケート調査:令和5年12月11日～令和6年1月11日 配布・回収状況:集計中</li> <li>④外国人旅行者対象アンケート:令和6年1月5日～令和6年1月19日 配布・回収状況:集計中</li> <li>⑤京都総合観光案内所対象ヒアリング調査:令和5年12月14日</li> </ol> <p>○鉄道利用者対象アンケート調査の主な結果 (ニーズが高い主な施策アイデア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丹鉄とJR、丹鉄とバスなどの乗り継ぎ改善</li> <li>・駅から観光地までの移動手段の確保</li> <li>・通学時間に合わせた鉄道やバスなどのダイヤ設定</li> <li>・企画列車の運行・イベントの開催</li> </ul>	<p>A</p> <p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p><b>【計画の目的】</b></p> <p>○安心・安全の確保と利用者の拡大による京都丹後鉄道を基軸とした持続可能な公共交通網の形成</p> <p><b>【基本方針】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①安心・安全な運行と持続可能性の確保 丹鉄の施設や車両の老朽化が進む中で、引き続き、施設や車両の計画的な更新を進め、安心・安全な運行を確保する。</li> <li>②快適性・利便性の向上 鉄道等を基軸とした地域公共交通の快適性・利便性の向上を図り、道路整備にともない利便性が向上した自動車交通との競争力を高める。</li> <li>③沿線地域のまちづくりや観光戦略との連携 沿線人口の減少が進む中で、まちづくりと連携した地域の公共交通ネットワークの充実を図るとともに、積極的な観光戦略との連携により公共交通利用者の増加を図る。</li> <li>④沿線住民など多様な主体との連携 鉄道の活性化・再生及び持続可能性の確保には、利用者の増加が不可欠である。住民にとっても、公共交通は通勤・通学・通院など生活に必要不可欠な移動手段である。このため、沿線住民など多様な主体との連携により、鉄道の利用促進を進め、利用者の増加を図る。</li> </ol> <p>以上の基本方針を軸に、計画を策定した。</p>